

## 計測・検査で「信頼」を提供する

### 主要製品

- 流量計 ● 計装システム ● 検査選別装置
- マイクロバブル洗浄装置・シャワーシステム
- 地盤調査機 ● 水分測定装置 ● 各種分析装置(元素等)
- 抵抗率測定装置



容積式流量計・バッチカウンタ 高性能検査選別装置MISTOL  
マイクロバブル洗浄装置 地盤調査機ジオカルテIV 水分測定装置

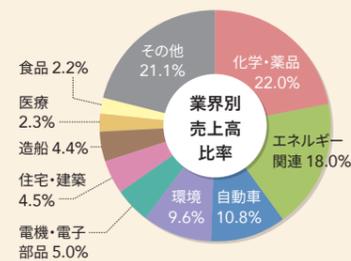


取締役 兼 執行役員  
制御システム事業本部  
本部長

石丸 元国

中期経営計画最終年度の必達に向け取り組みます。各製品群においてゴールを明確にしスピード感をもって臨み、得意とする計測・分析・検査技術により様々な分野で貢献し、社会に信頼され続けることを目指します。加えて、常に一步先を行く革新的技術の開発に努め、自動化やAI搭載など画期的製品の実現を皆で叶えています。“必ずできる”という強い思いと積極的な行動を常に心がけ、輝かしい未来に挑戦します。

## 事業概況

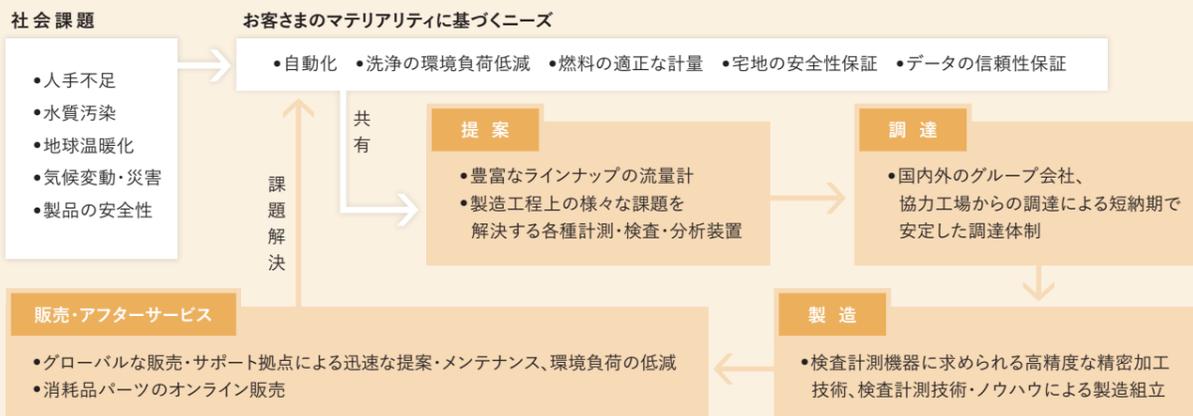


### 売上高・営業利益

化学・薬品、エネルギー関連を中心に分析装置が好調。加えて、環境分野でPFAS規制を背景にした欧州での分析装置販売、自動車向け部品検査装置の大型受注により、前期比で増収増益。

新製品開発、有機溶剤リサイクル装置の共同開発に加え、原価の見える化、加工部品の内製化・組立生産効率化、販売価格の改定などを推進。

## 制御事業の価値創造



## 事業機会

### 電池

現行LIB(リチウムイオン電池)の後継となる次世代二次電池用の材料向け需要が高まっています。スマートフォンや電気自動車、再生可能エネルギーでの利用など今後継続して伸びていく様々な産業で活躍が期待される分野です。高い品質が求められるため、検査・分析装置などにおいて自動化ニーズがあります。

### 環境

脱炭素を中心とする環境市場の拡大に伴い、当社が扱う流量計や分析装置などにおいてもニーズが変化してきています。例えば船舶燃料の転換や有機溶剤の分析・リサイクル、PFAS等の環境規制への対応などです。また、従来のエネルギー向け需要は低下している一方で、SAFに代表する再生燃料や合成燃料などの新たなエネルギー関連への需要が高まっています。

### 自動車

労働力不足や働き方改革による省人化要求を受け自動化ニーズが高まっています。特に自動車業界においては、CASEなどの技術高度化に伴います品質要求が厳しくなっており、それに対応する検査装置の自動化ニーズも増えています。

## 競合優位性

### カーボンニュートラル需要に応える技術群

イーセップ社との共同開発による有機溶剤リサイクル装置、各種環境規制に対応する分析装置、船舶新燃料に対応できる流量計、マイクロバブル活用技術など脱炭素ニーズに対応できる多様な技術群を持ち合わせています。

### 流量計装置のフルラインナップ

1949年に量水器を発売以来、多種多様なラインナップを揃える流量計群。船舶や化学薬品、半導体、食品など様々な業界のニーズに対応することが可能です。また、流量計測に付随する計装システム品も含めてご提案が可能です。

### 検査、分析分野における高い技術力

ファスナー事業向けの社内設備として生まれ、多数の検査種、AI機能までをご提供する部品検査装置。国内地盤調査におけるデファクトスタンダードとして浸透する地盤調査機。また、トップレベルの技術力で、世界中のニーズに応える分析装置を取り揃えています。

## 中期経営計画の概要と進捗状況

制御事業では、2025年にCAGR11.3%、ROS1.7UP(ともに2022年度比)を目標とする中期経営計画を策定しています。

### 新事業の確立

- 燃料プロセスへの参入
- カーボンニュートラルビジネスへの参入

### 既存事業の拡大

- 計測・検査領域の拡大
- 宅盤、土木領域の拡大
- 分析領域の拡大

### 海外事業展開

- 海外規格製品の開発
- 欧州事業の拡大
- 中国、韓国、タイエリア 受注強化

環境関連事業  
半導体・食品市場  
海外地盤調査事業  
EV / LIB事業

中期経営計画  
Mission G-second  
2024年度実績

CAGR  
12.8%

ROS  
6.9UP

中期経営計画  
Mission G-second  
2025年度目標

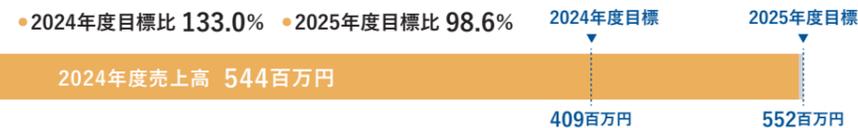
CAGR  
11.3%  
(2022年から2025年)

ROS  
1.7UP  
(2022年比)

成長戦略

グロースターゲット① 環境関連事業

脱炭素などの環境需要に対応する製品群の投入



脱炭素をはじめとする環境需要の高まりを受け、環境負荷低減に寄与する製品の提案を積極的に進めています。制御事業の製品は分析、計測、洗浄など多岐にわたり、製造工程における環境対応を幅広くサポートすることが可能です。

近年では、企業や大学との連携を通じ当社の持つ分析、計測、洗浄技術を活用した新たな環境負荷低減製品の開発にも着手しています。

**対有機溶剤** **有機溶剤リサイクル装置**  
日東精工の「プラント製作・流体制御・防爆」技術とイーセップ社の「ナノセラミック分離膜技術」を融合。有機溶剤のリサイクル回収率を高め、リサイクル回収時のCO<sub>2</sub>削減が可能です。



**マイクロバブル洗浄装置**  
水と空気だけで洗浄が可能な洗浄装置により、多量の有機溶剤や酸・アルカリ溶剤を消費する従来の洗浄方法からの代替で、環境負荷低減が可能です。



**対PFAS\*** **自動試料燃焼装置**  
PFASの総量を分析可能な自動試料燃焼装置。PFAS規制を背景に欧米を中心に拡大する需要に対応。  
\*耐水性や耐火性を高めるために、一般的な家庭用品に大量に使用されている有機フッ素化合物の総称です。難分解性物質かつ、難揮発性物質であることからストックホルム条約で規制されています。



**対船舶新燃料** **質量流量計**  
船舶において環境対応として新燃料への移行の過渡期を迎えています。質量流量計「クリーンフロー」は様々な燃料への対応が可能なため、新燃料へのスムーズな移行を支えています。



PFASへの取り組み・有機溶剤リサイクル事業の詳細はP40「特集②：環境ビジネス」へ

グロースターゲット② 半導体・食品市場

特殊なニーズに幅広い流量計ラインナップにて対応



**半導体** AIの急激な発展により需要が拡大しており、流量計においても市場規模の拡大に対応していく必要があります。半導体は金属成分の混入を嫌うため、当該成分を材料に使わず、樹脂およびセラミック材料を使用した耐酸タービン流量計を拡販しています。

**食品** 食品業界の市場規模は人口に連動するため、国内市場は減少傾向にあるものの、新興国をはじめとする海外市場は今後も大きく増加する見込みです。人が口にするものである食品向けにはシンプルな機構でメンテナンスも容易な質量流量計、容積流量計を拡販しています。

**IoT対応**  
製品のIoT化が求められる中で、当社の流量計製品においてもBluetoothを利用したIoT化を進めています。今後はさらに対応機種を広げていく予定です。  
※BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の商標です。



いずれの業界向けについても、新製品開発においてはIoT化による利便性の向上や計測範囲(流体の量)の拡大を進めています。

グロースターゲット③ 海外地盤調査事業

タイ政府機関、地方自治体への拡販



ジオカルテの展開

地盤調査機「ジオカルテシリーズ」は、国内ではデファクトスタンダードとして圧倒的なシェアを誇っています。しかし、今後の国内宅地地盤調査の縮小を見込み新市場への展開が急務となっていました。次なる市場として軟弱地盤が多いタイに着目。現在タイではボーリング試験とベーンせん断試験が主流となっていますがそれぞれの試験方式には課題も多く、ジオカルテの試験方式であればその課題の解決が可能です。



タイでの普及

タイでの販売開始に向けて行ってきたタイ国立カセサート大学との共同研究が実を結び、2024年にタイ政府機関への納入を実現しました。政府機関や地方自治体をターゲットとした理由は、公共インフラ整備にジオカルテが貢献できることや、価格面でも受け入れていただきやすいという点からです。今後は他の機関へも拡販を進め、最終的には民間での普及を目指しています。また、タイにおいては、2025年3月にマニラで発生した巨大地震の影響で建物やビルが倒壊するなど甚大な被害が出ました。この地震を契機にタイでの地震対策が急速に進むと予想しています。今後は価格や機能など現地のニーズを満たせる仕様を検討し、本製品の普及によりタイの災害対策への貢献を目指します。

地盤調査の試験方式の比較

	ボーリング試験	ベーンせん断試験	スウェーデン式サウンディング試験【ジオカルテ】
精度	○	△	○
コスト	△	○	△
労力	△	△	○

グロースターゲット④ EV/LIB事業

検査・分析装置の技術力



労働力不足の解決策として検査・分析分野で自動化ニーズが高まっていますが、EV部品については厳しい品質要求による自動化ニーズも多くあります。自動化だけでなく最新技術を用いた機能のアップデートにより利便性を向上させ、それらの需要に確実に応えています。

検査選別装置MISTOLシリーズ

労働力不足の解決や、品質要求の高まりによる検査装置の自動化ニーズに対応する検査選別装置「MISTOLシリーズ」。最新技術を積極的に導入し、きめ細やかな対応力を強化しています。近年では、多関節ロボットを利用しデリケートな部品の検査が可能な「MISTOL ロボタイプ」や、AI技術を搭載した「MISTOL AI」を開発しました。



水分計

次世代電池向けに使用される電子材料の水分が測定可能な水分計。電池部品に欠かせない分析技術で需要に応えています。



自動粉体測定装置

成長分野である電池の電極をはじめ、電子部品の材料の評価に最適な装置。粉体の抵抗率とプレス密度を同時に測定可能です。



利益率向上に向けた取り組み

部品発注数を適正化し、在庫削減と回転率向上を実施します。また、自動加工機を使用した夜間の自動運転の推進や新生産管理システムの導入を進めており、さらなる業務効率化を行っています。加えて、定期的な販売価格の改定を進め、利益率の改善を図ります。